

表 脳梗塞の症状

(以下の症状は脳梗塞以外でも起きます。急に起きた場合に、脳梗塞を疑いましょう)

1. 顔の片側が下がる、ゆがむ
2. 手足の力が抜ける
3. 言葉が出てこない、理解できない
4. めまいがする
5. 片足を引きずる
6. ふらふらして歩けない
7. 視野にカーテンがかかったようにものが見づらい
8. 物が二重に見える
9. 片方の手足がしびれる など

★ FAST を覚えましょう!

顔の麻痺 (Face)、腕の麻痺 (Arm)、言葉の障害 (Speech) の頭文字です。加えて、時間 (Time) と競争し、出来るだけ早期に (FAST) 敗れて日本語で言えば「顔・腕・言葉・急げ!」。



はなちゃん

小象の「元気!」マ行二つ」生活習慣病防止へ! 市民と医療者の会



まくん

脳卒中には、脳の血管が詰り出血、くも膜下出血があり、血管が破れる。中でも脳梗塞は脳卒中の

脳梗塞の兆候

麻痺や言語障害、即受診を

約4分の3を占めます。もし、管の大きさや部位によって、こ
 脳梗塞を疑ったら、直ちに救急車で脳卒中の専門病院を受診することが、その後の経過を良くする第一歩になります。脳梗塞で最も多い症状は、半身の運動麻痺(まひ)です。専門病院では、脳梗塞が起きてから、4時間半以内なら、急性に半身の手足に力が入らなくなったら、脳梗塞を疑うべからず、速に手足と同じ側の血管(血の塊)溶解剤、8時間以内であればカテーテル操作の麻痺を伴う場合はなおさ作を使い血栓を溶かし、血管の詰まりを改善させる治療が

次は、言葉の障害です。ろ症状が、短い時間で改善し、脳梗塞が進行したり、倒れたり物にぶつかったりして、けがをするリスクがあるから、脳卒中を強く疑うべき症状、頭の麻痺(Face)、腕の麻痺(Arm)、言葉の障害(Speech)の頭文字です。加えて、時間(Time)と競争し、できるだけ早期にFAST治療を開始します。三つの症状の発病時間を念頭に、いち早く救急車で病院を受診しましょう。ぜひこのFASTを覚えてください。

可能となります。その後は、血液をサラサラにする薬で血栓をできにくくし再発予防に努め、リハビリテーションを開始します。

れつが回りにくくなり、消費すること(一過性脳虚血発作)数分から数時間)もあ頭が前かがみ(前屈)にならないように、枕を使わず、肩の下にタオルなどを敷いて、頭を後ろに反らせ気味に顎が上がった状態にすると、呼吸が楽になります。その間、患者さんから目を離さないように。意識状態が悪ければ、気道がふさがらないようにし、誤嚥が起きないようにします。加えて、時間(Time)と競争し、できるだけ早期にFAST治療を開始します。三つの症状の発病時間を念頭に、いち早く救急車で病院を受診しましょう。ぜひこのFASTを覚えてください。

【脳梗塞の症状】
 脳梗塞は「突然意識を失って倒れる病気」だと思ってい

【脳梗塞を疑ったら】
 重症軽症にかかわらず、直ちに119番に電話して救急車を呼んでください。これは一刻も早く可能な限り、専門

【脳梗塞の兆候】
 脳梗塞は「突然意識を失って倒れる病気」だと思ってい

【脳梗塞を疑ったら】
 重症軽症にかかわらず、直ちに119番に電話して救急車を呼んでください。これは一刻も早く可能な限り、専門



(国際医療福祉大学市川病院 院長 佐伯直勝)